



発行：杉下地域支え合い協議会事務局 鶴ヶ島市五味ヶ谷202（東市民センター内）
発行責任者：会長 千葉 博之 Tel・Fax：（049）298-6914 Eメール：sugishitasasaeai@zc.wakwak.com

10月以降のイベントのお知らせ

コロナ禍のなかイベントの規制緩和や飲食店の時間延長など耳にしますが、依然おさまりを見せない新型コロナウイルスです。「Withコロナ」などとも呼ばれ、今までのような生活様式は無理になったのでしょうか。今後の杉下地域支え合い協議会のイベントについても人数制限、3密回避のため以下のようになっております。ご理解の程宜しくお願いたします。

『予定イベント』

●杉下朝市
毎月第一月曜日 9時から 東市民センター

『中止イベント』

- 11月予定の異世代交流会
- 10月予定の買物バスツアー
- 9月に予定をしていた高齢者のつどい、J-DAG訓練



※その他予定しているイベントについては、内容変更または日程調整可能かなど調整中です。

新型コロナウイルス感染症のなか

会長 千葉 博之

日頃より、杉下地域支え合い協議会に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、取り巻く環境が大きく変化し、当会の事業にあつて、活動の縮小を余儀なくされていることから、皆様のご要望に十分お応えできなく残念に思っております。

また、この状況下に於いて儘ならない日常生活を強いられるものと推察を致しますと同時に、猛暑の続く中、熱中症に注意を払つての生活には、ストレスとなつたことが多いいのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスの感染者は、減少傾向にあります。安心はまだ先のことと思ひます。

感染症の予防に対し、ソーシャルディスタンスの確保、マスク、手洗い習慣の継続、新しい生活様式に慣れていくことが必要と思ひます。早い時期の収息を祈るばかりです。

一方、今日の気候変動には、突然の集中豪雨・雷・竜巻により各所に被害をもたら

しています。特に台風の発生による災害に注意を払わなければなりません。これまで台風の発生は、十回ですが例年からして、あと十五回位の発生が考えられます。よつて、コロナ禍にあつての災害対応として、避難所の過密対策が進められていることから、政府として、安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はないことや、避難先は、指定避難所だけでなく、安全な親戚・知人家などに避難する方法もあると「分散避難」を呼び掛けています。

避難することは命を守るうえで最も重要なことですが、「避難所」に行くことだけが避難ではありません。避難所は、密集、密接、密閉のいわゆる「三密」になりやすいとされています。危険性の無い場所にいるなら、あえて避難する必要はないでしょう。ただし、高齢者、体の不自由な方に関しては、災害関連死の危険性もあることから、長期間、家で一人であることがないよう配慮が必要です。当協議会としまして、今後の新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、各委員会のイベント等を通して、活動がはかれるよう取り組んでまいります。皆様のご健康とご発展を心よりお祈り申し上げます。

助け合い隊活動中

コロナ禍で皆様にご心配をおかけしておりますが、新型コロナウイルスに「かからない」「うつさない」を心がけて作業を行っております。以前に比べて、お手伝いに制約がありますが、困った時はご相談ください。

外出（買物のお手伝いなど）
掃除（ゴミ捨てなど）

簡単なお困りごと気軽にお電話下さい

屋外（草むしり、庭木剪定、植木の水やりなど）
その他（ご相談に応じます）

利用会員・協力会員 募集中

住所 鶴ヶ島市五味ヶ谷202（東市民センター内）
電話 049-298-6914（月～金 9時～12時）
Eメール sugishitasasaeai@zc.wakwak.com



【杉下朝市開催】

7月より再開した杉下朝市も、皆様のご協力により、マスクの着用、検温および消毒を実施し、3密を避けながらの実施で8月、9月も実施できました。ご協力ありがとうございました。

【9月開催】

令和2年9月7日(月) 9時から10時まで
東市民センター ロビー 参加者人数30名
・新鮮野菜、お花、お茶、手作り品の販売



受付で検温、手の消毒
そして記帳です。

売り場風景です。
区割りは8月と同じです。

【8月開催】

令和2年8月3日(月) 9時から10時まで
東市民センター ロビー 参加者人数35名
・新鮮野菜、お花、お茶、手作り品の販売



右側にお野菜2店、正面は
お花、その隣にお茶、奥が
手作り品売り場です。

お花売り場はいつも
にぎやかです。
切花から苗まで販売。

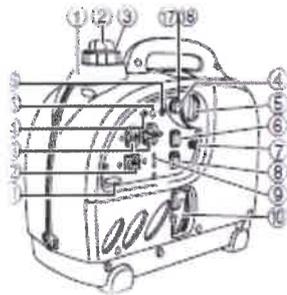
次回10月5日(月) 開催予定
9時～10時
東市民センター ロビー
お花・野菜・お茶、手作り品など

【備蓄庫の機材点検実施】

令和2年8月27日(木) 15時30分から17時まで、杉下小学校のピロティにて、備蓄庫にあります携帯発電機、組立式煮炊きレンジ、それと杉下小学校の井戸の点検を老いに鞭打って皆頑張りました。

「携帯発電機の点検」

1. 燃料のチェックを行います。
2. 燃料給油キャップ②を左に1回転する。
3. 燃料コック⑤をONにする。
4. エコノミースイッチ⑧をOFF、エンジンスイッチ⑥をONにする。



リコールスタータハンドル⑩を勢いよく引きエンジンを始動する。

「井戸の点検」

ポンプがうまく起動するか、水は出てくるか、水は濁っていないかポンプを動かして確認します。



「組立式煮炊きレンジの点検」



- ・缶を重ねて油缶に給油管を接続する。
- ・バーナー本体を取り出します。



- ・バーナー本体の電源コードを発電機に接続します。
- ・灯油缶に灯油を入れます。



- セットしたら点火です。
- ①のバーナー本体に給油管を接続する。
 - ②の送風機のSWをONする。
 - ③の油バルブを左に回転させて灯油をだす。



- ・燃焼筒に灯油が染み出してきたら点火棒に灯油を付けライターで火をつけます。
- ・燃焼筒に点火します。



(S・H)

地球温暖化は急激に私たちの生活を脅かし、コロナウイルスと相まって助け合い隊も大きな影響を受けています。8月から9月にかけての真夏日の連続では作業の計画を立てられず、実施を待つことも行うことが多くなりました。協力会員も高年齢者ばかりという現状を改めないと活動の継続も難しくなりそうです。春と秋が極端に短くなってきた昨今、活動の問題はより多くなっています。

コロナと猛暑

コラム記事
